

九州地方 (九州支部)

- 【福岡】
 ○ たんがくの家 (久留米市)
 ○ わこの家 (田川市)
 ○ ほのぼの (春日市)
 ○ ちえろっと (嘉麻市)
 ○ しずく (糸島市)
 【熊本】
 ○ われもこう (熊本市)
 ○ miraie (熊本市)
 【大分】
 ○ おけたん宇佐 (宇佐市)
 【宮崎】
 ○ かあさんの家 (宮崎市)
 ○ 日南かあさんの家 (日南市・休止中)
 【鹿児島】
 ○ もくれんの家 (日置市)
 ○ ゆいたばー (鹿児島市・準備中)

近畿地方 (西日本支部)

- 【兵庫】
 ○ 神戸なごみの家 (神戸市)
 ○ 愛逢 (尼崎市)
 ○ ひなたの家 (姫路市)
 ○ よりぞいの家ぞらい (姫路市)
 ○ 咲愛 (さくら) の家 (姫路市)
 ○ おはな (姫路市)
 ○ ぬくもりの家花・花 (洲本市)
 ○ 心音 (尼崎市)
 ○ 宝塚つむぐの家 (宝塚市)
 【大阪】
 ○ ぶさの家 (枚方市)
 ○ 風の葉 (大阪市)
 ○ あゆ実 (寝屋川市)
 ○ のぞみの家 (豊中市・準備中)
 【奈良】
 ○ みぎわ (大和郡山市)
 【和歌山】
 ○ 紀州やわらぎの家 (和歌山市)
 【三重】
 ○ あこや (伊勢市)

- 【東京】
 ○ 樫 (小平市)
 ○ はーとの家 (葛飾区)
 ○ 里の家 (中野区)
 ○ ホームピアむつみあい (足立区)
 ○ てんき (世田谷区)
 ○ セ・ラ・ヴィ (文京区)
 【埼玉】
 ○ 晴れる家 (越谷市)
 【千葉】
 ○ フローラファミリー (鴨川市)
 【栃木】
 ○ 栃木かあさんの家 (大田原市) (東日本所属)

関東地方 (関東支部)

- 【東京】
 ○ 樫 (小平市)
 ○ はーとの家 (葛飾区)
 ○ 里の家 (中野区)
 ○ ホームピアむつみあい (足立区)
 ○ てんき (世田谷区)
 ○ セ・ラ・ヴィ (文京区)
 【埼玉】
 ○ 晴れる家 (越谷市)
 【千葉】
 ○ フローラファミリー (鴨川市)
 【栃木】
 ○ 栃木かあさんの家 (大田原市) (東日本所属)

東北地方 (東日本支部)

- 【青森】
 ○ もりの家 (八戸市)
 【秋田】
 ○ くららの家 (秋田市)
 【宮城】
 ○ にしいろのいえ (仙台市)
 【福島】
 ○ 結びの家くるみ (福島市)
 ○ つどいの家ほしそら (国見町)

中国地方 (西日本支部)

- 【広島】
 ○ ゆずの家 (広島市)
 ○ まろんの家 (広島市)

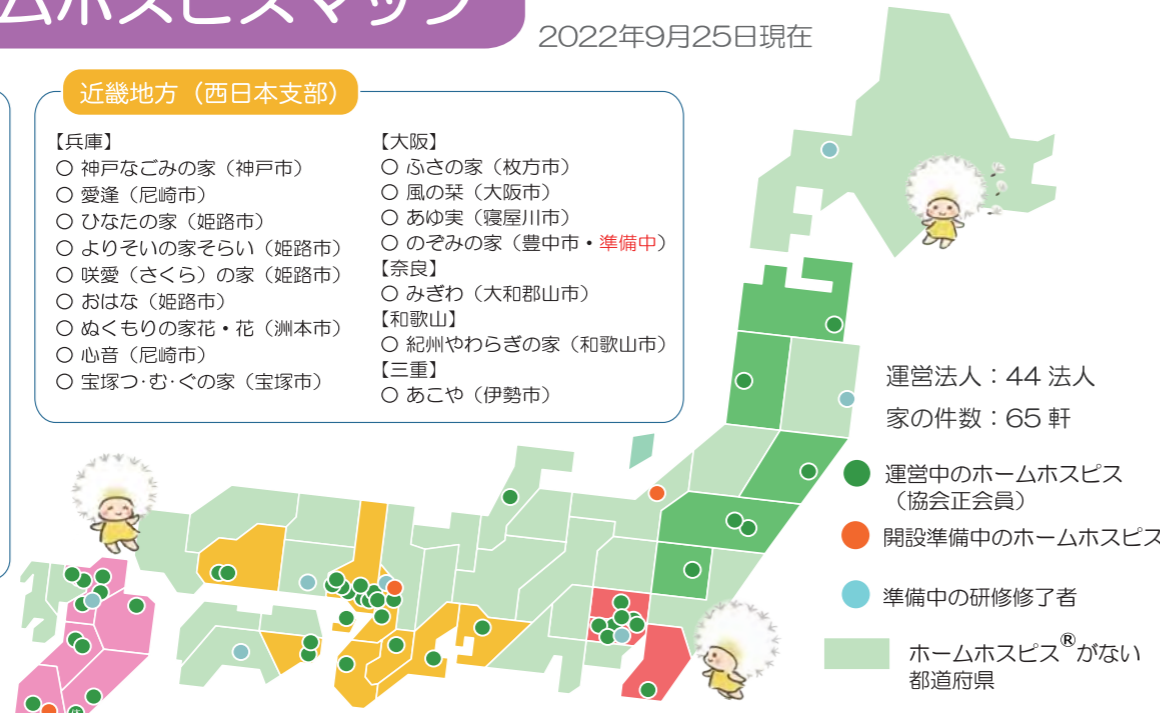
中部地方 (*) (西日本支部)

- 【愛知】
 ○ みよしの家 (みよし市)
 【石川】
 ○ もう一つの家やさん (小松市)
 ○ ぶくぶく (新潟市・準備中)

(*) 中部地方は、まだ少ないため西日本支部で取りまとめています。

四国地方 (西日本支部)

- 【徳島】
 ○ 大原やすらぎの家 (徳島市)
 ○ 徳島とも暮らしの家ふくい (小松島市)



運営法人: 44 法人
 家の件数: 65 軒

- 運営中のホームホスピス (協会正会員)
- 開設準備中のホームホスピス
- 準備中の研修者
- ホームホスピス®がない都道府県

Information

1 ホームホスピス全国大会 in 札幌を開催します。

第11回となるホームホスピス全国大会は、いよいよ初めての地、北海道札幌市で開催します。前回同様、オンラインでの参加も可能です。

テーマ: 「ホームホスピスが創る未来図」

期日: 2022年10月29日(土)~30日(日)

会場: ACU 札幌 (札幌市中央区北4条西5丁目アスティ 45 16F)

参加費: 一般 5,000円 1日のみ参加の場合は 3,000円

講師: 中島 秀之氏・宮本 太郎氏・大島 一博氏・河正子氏・山崎 亮氏・加藤 忠相氏

永森 克志氏・山田 奈緒美氏・村松 司氏・松山 雅一氏・半澤 博恵氏

定員: 300名 (会場 200名まで)



北海道 札幌市

2 「ホームホスピスの学校」第4期がスタートします。

「ホームホスピスの学校」は、ホームホスピスで働いているスタッフの学びの場としても活用できます。ホームホスピススタッフ向け研修は価格設定が異なりますので、協会までお問い合わせください。

来年度以降につきましては、2023年2月以降にホームページで案内を予定しています。

3 オンライン聞き書きボランティア第2弾を実施します。

メットライフ生命 CSR 月間のオンライン聞き書きボランティア第2弾を実施します。今年は3団体(各1名)、時期は12月以降を予定しています。住人さんの聞き書き本を作ってほしいというホームホスピスがいらっしやいましたら、協会事務局までご連絡ください。

【事務局連絡先】

〒880-0913 宮崎市恒久2丁目19-6

TEL: 0985-65-8087 FAX: 0985-53-6054

Mail: info@homehospice-jp.org

HP: https://homehospice-jp.org/



facebook



Instagram



Twitter

Supported by 日本 THE NIPPON 財団 FOUNDATION

【発行者】

一般社団法人 全国ホームホスピス協会

〒880-0913 宮崎市恒久2丁目19-6

TEL 0985-65-8087 FAX 0985-53-6054



ホームホスピスの種が、たんぽぽの綿毛のように、ふわりふわりとあちらこちらに広がって、どこにでもしっかりと根を張り育つように、このニュースレターは「たんぽぽ」と名付けられました。

ホームホスピス®は、病いや障害があっても最期までその人らしく暮らせる「家」です。

協会の役割ご紹介

開設のサポート

協会の役割の一つに、これからホームホスピスを開設しようとする皆さんのサポートがあります。

- ・運営法人の設立に関すること
- ・物件(家)の選定に関すること
- ・体制づくりに関すること
- ・事業スケジュールに関すること
- ・資金調達に関すること
- ・行政対応に関すること
- ・規約、契約、料金など、各種の取り決めに関すること

その他にも、必要に応じて現地視察やオンライン相談を行っています。



家の改修に関するアドバイスの様子

ホームホスピスを創る

理事長 市原 美穂

たんぽぽ第6号(前号)のコラム「ふわり」に、「ホームホスピスと恋に落ちて」というドキドキするようなお題で、理事の高橋紘士さんが寄稿されました。

そうなんです。ホームホスピスに恋をして…とまでなくても、「自分の地域にホームホスピスが欲しい」「いつかはホームホスピスで仕事がしたい」「開設はできないけれどこの理念を応援したい」という方々が、ホームホスピスの学校の受講を希望され、定員がすぐに締め切られるという想定外のことになりました。この学校の特徴は、理念や哲学、組織づくり等、座学が全てオンラインなので、全国どこからでも受講でき、実習地も近隣の認定ホームホスピスを選択することができます。

“つくる”コースには、沖縄県、鳥取県、島根県、香川県、高知県、岡山県、神奈川県、岩手県など、これまでホームホスピスのない県の方々を受講され、西日本に多いホームホスピスの実践が、東日本地域にも更に広がる兆しです。現在、東日本では、新潟県、北海道で開設の準備が進んでいます。

開設に至るまでは、多くの課題があります。まず物件を探し、それが家として適切か、地域の理解は得られるか、ケア現場を担うスタッフはいるか、運営の主体はどんな組織か等々、『ホームホスピスは茨の道です』と言われる所以です。協会では、開設までの流れや、家の選択・改修など「住まい」に関すること、組織や運営に関すること等、個別に相談にのり、現地に赴いてアドバイスをしています。

もうひとつ、協会の大きな事業に研修と交流事業があります。今年の全国大会は札幌で開催し、テーマは「ホームホスピスが創る未来図」です。コロナ禍を3年あまり過ごし、これまでの人々との繋がりや、普通に暮らすという感覚が変化したと感じています。「とも暮らし」や「まちづくり」をキーワードに紡いできたホームホスピスの営みを検証しつつ、その知恵を未来にどう生かしていくのかという問題意識を常に持っていたいと考えています。

コラム

ふわり

「生物は必ず死を迎える現実」

猛暑の夏から朝・夕はやっと心地よい風を感じられるようになりました。全国のホームホスピスでは、既に紅葉が始まっている町もあれば、夏の暑さが残る町もあり、それぞれに季節を感じて日々を過ごしておられることと思います。そして、第7波の新型コロナウイルスも、やっと減少傾向になってきました。幸い神戸なごみの家では、入居者の皆さんが通常通りご家族との時間も楽しみながら変わらぬ時間を過ごされ、ホッとしています。

私達は、なごみの家と通常の訪問看護に加え、在宅のコロナ感染者への健康観察に、PPE(個人用防護具)、フル装備での訪問ですが、エアコンオフに度々遭遇し、20分程度の短い時間に換気を行い、エアコンをつけて温度調節をしても、翌日には、エアコンのスイッチがオフになっている、の繰り返しでした。何かこの期間を無事に過ごして欲しいながら、「食事」は「水分は」と訊ねても、テーブルの上も冷蔵庫の中も前日と同じ状態で、時には、水分を持参して食事の準備もしました。

ある日、健康観察期間を終える方に訪問終了を告げ、玄関を出ようとPPEを片付けて振り返ると、玄関に通じる廊下に正座し、三つ指をつけて深々と頭を下げられている姿がありました。この10日間に常用する内服薬の不足、友人への感染の心配で、食欲低下と不眠を訴えられました。深々と頭を下げられたその姿に、ひとりで過ごす不安の大きさを改めて感じました。



理事 松本京子

ホームホスピスの仲間

新しく開設されたホームホスピスをご紹介します。

ホームホスピスおはな（兵庫県 姫路市）

2022年1月、姫路市の一番西に当たる長閑な場所で「ホームホスピスおはな」を開設いたしました。地域の方も応援して下さい、またご近所の方々がスタッフとして来てくれるなど、周りの皆様に支えられながら頑張っています。


「おはな」の言葉の意味（ハワイ語で『家族』）にもあるように、ここで過ごされる方や関わる全ての方を家族のように思いやり、心遣いを大切にしながら、安心できる第二の我が家、地域に根付いたホームホスピスを目指してまいります。



ホームホスピスあゆ実（大阪府 寝屋川市）

ただいま、日本財団の助成を受けホームホスピスの開設準備中です。当初今年の5月にはオープン予定でしたが、コロナ、ウクライナの情勢により、備品の調達ができず、ようやくこの11月にオープンの目処が立ちました。


色々な壁があり、泣きそうな事もありました。しかし、たくさんの方の協力、支援を受け、一人ではない事を強く感じています。今は、オープンに向け、少しずつ着実に楽しみ（わくわく）ながら準備をしています。



ホームピアはなのあい II（東京都足立区）


東京都足立区花畑という地域で、これまで3軒のホームホスピスを運営してきました。この度、地域の皆さまのご要望にお応えして、4軒目となる2階建て4LDK（105㎡）の中古住宅を改装し、5DKで定員5名の生活の場を作ることができました。

完成を待ち望んでくださっていた入居者様が満室となり、皆さま笑顔でお越しです。



栃木があさんの家・大田原（栃木県大田原市）


栃木があさんの家は、大田原市で2013年から運営しています。スプリンクラー設置が義務化されたことで、途中で1軒お返しすることになりましたが、今回、改めて3軒目を開設することができました。



ホームホスピスしずく（福岡県 糸島市）

5月1日に開設し、3か月余りで6名の入居・ショートステイを迎え、3名の方の看取りをさせていただきました。ご家族やケアマネ、訪問看護師などから「しずくだからこそ、こんなにいい看取りができた。」と言っていただいています。

入居の方にも笑い声の絶えない居場所になりました。まだまだ学ぶべきことが多いですが、経験を積み重ね、一人一人に寄り添い、これから地域になくてはならないホームホスピスを作っていきます。



ホームホスピスもう一つの家やさん（石川県 小松市）

北陸初となるホームホスピス「もう一つの家やさん」を9月23日に開設しました。

この家は、感染症対策や、いざというときに対応できる機能を持ち、家族との絆、地域とのつながりを大切に、やがて訪れる最後の日を、暮らしの中で自然に受け止められる場所です。


ご自分の家にいるような「くつろぎ」と「気持ちの安らぎ」は、お一人おひとりの大切な日々を豊かにします。



ホームホスピスわれもこう・新大江（熊本市）

2010年に「われもこう薬師」、それから3年後「われもこう新大江」と2軒のホームホスピスで活動しておりましたが、地震、洪水等々諸事情がありまして、元「われもこう新大江」の道路を挟んだ裏側に引っ越しました。新しい「われもこう新大江」です。


引っ越しに伴い一時的に他所に移ってらっていた住人も全員無事帰還！ここはなぜだか『のん兵衛』の住人が集まる。みんなで毎晩、晩酌してます。



ホームホスピス紀州やわらぎの家・中之島（和歌山市）

2014年12月、和歌山市紀三井寺に「ホームホスピス紀州やわらぎの家」を開設し7年が立ち、病院でもない施設でもない自宅の環境に近いところで、とも（友・共・伴）に暮らす仲間がいて私たちスタッフも家族の一員として生活しています。2軒目を2021年8月21日にオープンしたのですが、なかなか外回りの整備ができず1年経ちました。

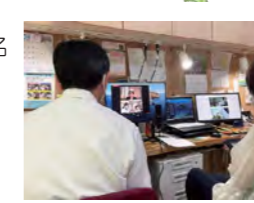
異常な暑さが終われば入居者さんと一緒に僅かな庭を整理し、お花や家庭菜園を予定しています。



ホームホスピスの学校

II期：2021年10月～
 ・つくるコース6団体11名/まなぶコース15名
 III期：2022年5月～
 ・つくるコース8団体20名/まなぶコース9名
 ・ホームホスピスコース4名
 ・リーダー養成研修生5団体

コロナ禍で実習時期が遅れるなど、思うように準備が進まない状況もありますが、前を向いて頑張っています。開設へ向けた事務研修では、皆さんが同じような悩みを持っていることも分かってきました。今後は、同じ目標を持つ受講生の皆さんの交流や、テーマを決めての勉強会なども実施していく予定です。



オンライン事務研修

受講生からのコメント

ホームホスピスの学校終了後は、勤めていた訪問看護ステーションを退職し、NPO法人開設のため仲間を募りました。拠点がない状態での仲間探しは難しく、SNSを活用して、ケアについての勉強会の開催や、オンラインで参加した研修を通して知り合いを増やし知識を増やすことができました。

その後、コミュニティナースとして、地域活動を中心に「ガソリンスタンド」や、「グランドゴルフ」、「生き生き100歳体操」といった、住民さんの集まる場で暮らしのつづきを拾い元気応援アドバイスや、仲間集めを続け、活動状況はSNSで広めていき、さまざまなサポーターが増えていきます。来年は民生児童委員としても、さらなる地域住民さんのつづきをひろっていきます。これからも、地道に、地域活動を続けながら、多世代が集い、笑ってなごんでつながりあうホームホスピスを目指していきます。

NPO 法人和はは 代表 小林 あず香さん



参加者の自己紹介



榎原 千秋 先生の排泄ケア



聞き書きワークショップ



岡田 慎一郎 先生の古武術介護

第6回ホームホスピス実践者育成塾

期日：2022年7月1, 2日
 会場：小松市公会堂（石川県）・オンライン配信
 参加者：会場38名 オンライン62名

久しぶりの対面開催が実現できた育成塾でした。特に古武術介護の岡田慎一郎先生は、昨年の「来年こそは対面で！」という約束が叶ったこともあり、テンションも高く、どんどん動かされてご指導いただきました。また、育成塾初の聞き書き講座も、短い時間ながらたくさん作品が生まれ、充実した内容となりました。

オンラインで参加している皆さんも、会場と同様に講師の動作を真似ながら動く様子が、パソコンモニターにも映し出され、離れていても一緒にいるかのような感覚になりました。

今回は、ホームホスピスの学校で学ぶ皆さんも多く参加され、交流の場にもなったようです。育成塾での実践的な学びをケアや生活に活かしていただけたら嬉しいです。



トピックス

メットライフ生命保険株式会社で働く社員の地域社会貢献活動として、「聞き書き活動」に取り組みました。

全国各地15名の社員さんが、2021年11月より聞き書き作家である小田豊二先生の講義を受け、「咲愛の家」「ゆずの家」「フローラファミリー」で暮らし住人さんへのオンライン聞き書きを実施しました。

語り手の人生の物語が世界で一冊の本となり、語ってくださった住人さんやご家族からも大変好評で、社員さんも活動継続したいとのことですので、今後も楽しみです。



オンラインによる聞き書き活動

第10回全国合同研修会 in 宮崎

第10回記念として、ホームホスピスの始まりの場所、宮崎で開催しました。久しぶりに仲間と会い、この2年のことを話す姿や、オンラインでしか会ったことのなかったホームホスピスの学校受講生が交流する様子も見られました。

テーマ：「つながりを編み出す～地域共生社会とは」
 期日：2021年11月20、21日
 会場：宮崎県宮崎市 MR7micc+オンライン配信
 参加者：会場55名（HH関係者40名、一般参加15名）
 オンライン83名

●11月20日（土）
 「ホームホスピスが生まれたまち」市原 美穂《協合理事長》
 「なぜ、地域共生社会なのか～その実現に向けて～」
 野崎 伸一氏《厚生労働省職業安定局高齢者雇用対策課長》
 「まちを住みこなす」
 大月 敏雄氏《東京大学大学院工学系研究科教授》
 「ひとりにしない支援～伴走型支援とはなにか～」
 奥田 知志氏《ホームレス支援全国ネット代表》
 対談：「つながりを編み出す社会とは」
 野崎 伸一氏 / 大月 敏雄氏 / 奥田 知志氏
 つながる時間～交流を深めましょう～（会場のみ）

●11月21日（日）
 「暮らしを支える医療人を育てる」吉村 学氏《宮崎大学医学部地域医療・総合診療医学講座教授》
 「どんな感情も大切な心のメッセージ」副島 賢和氏《ホスピタル・クラウン 昭和大学院准教授》
 シンポジウム「0歳から100歳を超えて～生き方と向き合う在宅医療」
 シンポジスト：市橋 亮一氏《総合在宅医療クリニック理事長》
 / 堤 育子氏《HALE たちばな施設長》 / 木戸 恵子氏《ホームホスピスは一との家代表》



会場参加の皆さんと集合写真



全員ご当地キャラの被り物で登壇